

重信川河口域の湿地環境保全 ～高校生の取り組み～



河口域に来る野鳥の群れ



自然科学教室でヨシ原再生説明実施

<活動内容>

平成16年清掃活動から始めた環境保全活動の範囲を拡大し、平成20年から重信川河口のヨシ原再生計画に関するワーキングに参画し、計画づくりから維持管理まで取り組むようになった。現在ではD-GPSを用いたヨシ原の育成状況調査のほか、WEBカメラを設置し学校HPを利用しライブ画像を発信、日本野鳥の会会員とともに鳥類調査など高度な調査活動を継続的に行っている。

いまでは住民の憩いの場、小中学校等の環境学習の場、バードウォッチングの場として年間約1万人が訪れるようになった。

活動主体

愛媛県立伊予農業高等学校 希少植物群保全プロジェクトチーム

対象となる社会資本

重信川河口域

※管理者：四国地方整備局(松山河川国道事務所)